



2025年10月23日

各 位

会 社 名 フューチャー株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード：4722、東証プライム)
問合せ先 執行役員 松下 恭和
(TEL. 03-5740-5724)

(訂正)「2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2025年10月22日に発表しました表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。なお、数値データについては、訂正はありません。

記

1. 訂正の理由

添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載された内容の一部に誤りがあったため、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

<訂正前>

フューチャーインスペース株式会社は、PLM事業への本格参入による新規大型案件の獲得や、DXコンサルティング案件の価値訴求が売上に寄与したものの、ソリューション案件の受注が計画を大きく下回ったことにより、前年同期比で減収減益となりました。

Future One株式会社は、強みであるオリジナルのパッケージソフトウェア「InfiniOne」の販売において、鉄鋼業など業界特化型の営業展開による新規受注の拡大に加え、付加価値の提案による既存顧客からの受注が拡大し、前年同期比で増収増益となりました。

フューチャーアーティザン株式会社は、PLM事業への本格参入による新規大型案件の獲得や、DXコンサルティング案件の価値訴求が売上に寄与したものの、プロジェクトの受注が計画を下回ったことに加え、グループ間の事業移管の影響及びソフトウェアの償却負担の増加などから、前年同期比で減収減益となりました。

<訂正後>

フューチャーインスペース株式会社は、定常的な保守運用サービスに加え、既存顧客のシステム基盤更改及びクラウド移行案件の開発が引き続き好調に推移したものの、大型の開発案件が終了した影響により、前年同期比で減収減益となりました。

Future One株式会社は、強みであるオリジナルのパッケージソフトウェア「InfiniOne」の販売において、鉄鋼業など業界特化型の営業展開による新規受注の拡大に加え、付加価値の提案による既存顧客からの受注が拡大し、前年同期比で増収増益となりました。

フューチャーアーティザン株式会社は、PLM事業への本格参入による新規大型案件の獲得や、DXコンサルティング案件の価値訴求が売上に寄与したものの、ソリューション案件の受注が計画を大きく下回ったことにより、前年同期比で減収減益となりました。

以 上